

記したり、黒川は奥道中の往還筋にて、黒川と云川の岸なり、兵部式には黒川驛と記したり、また回國雜記にもみえたり、

〔東大寺要録六〕造寺司牒三綱所

合奉宛封一千戸

下野國貳佰伍拾戸

芳賀郡石田郷五十戸、足利郡土師郷五十戸、粟田郡深川郷五十戸、都賀郡高栗郷五十戸、鹽屋郡片岡郷五十戸、

以前寺家雜用料、永配件封、當年所輸之物、爲始奉充如件、今以狀牒牒至准狀、故牒、

天平勝寶四年十月廿五日

主典從七位上阿刀連酒主

〔關八州古戰錄二〕宇都宮尙綱野州早乙女坂合戰ノ事

後冷泉院ノ御朝、奥州ノ夷賊安倍ノ貞任宗任叛逆ノ時、調伏ノ爲トテ、粟田關白道兼ノ玄孫大僧

正宗圓、江州志賀郡石山寺ノ座主タリシガ、宇都宮多氣郷ヘ差下サレ、祈念ノ丹誠ヲナサシメラ

ル、既ニシテ凶徒誅伐シ、奥羽平均ニ付テ、勸賞トシテ宗圓ヲ下野國ノ守護ニ補セラレ、○下略

〔宇都宮系圖別本〕宗圓天台座主天永二年辛卯十月十八日、六十九歲寂、

人王七十代後冷泉院御宇天喜元年、詔八幡太郎義家討安倍貞任、高家宗任、逆徒爲調伏之御祈禱、

康平三年庚子、宗圓十八歲、于時後冷泉院依勅命、下野國宇都宮下向、依御願成就上洛、其時爲勸賞

被補下野國守護職、御祈禱本尊座像不動有宇都宮田氣郷、

〔吾妻鏡七〕文治三年十二月一日戊辰、今日小山七郎朝光母下野大丞政給下野國寒河郡并綱戸郷、

是雖爲女姓、依有太功也、

〔栃木縣廳採集文書四〕

花押源朝

下野國寒河郡并阿志士郷